

一九九一 (平成 三年)
 一九九〇 (平成 二年)
 一九八九 (平成 元年)
 一九八八 (昭和六十三年)
 一九八七 (昭和六十二年)
 一九八三 (昭和五十八年)
 一九八一 (昭和五十六年)
 一九七七 (昭和五十二年)
 一九七六 (昭和五十一年)
 一九七〇 (昭和四十五年)
 一九六一 (昭和三十六年)
 一九六〇 (昭和三十五年)
 一九五九 (昭和三十四年)
 一九五六 (昭和三十一年)
 一九五五 (昭和三十年)
 一九五四 (昭和二十九年)
 一九四九 (昭和二十四年)
 一九四七 (昭和二十二年)
 一九四五 (昭和二十年)
 一九四一 (昭和十六年)
 一九三五 (昭和十年)
 一九二九 (昭和四年)
 一九二八 (昭和三年)
 一九二七 (昭和二年)
 一九二六 (昭和元年)

相馬タワーができる 常磐道(高速道路)相馬・亘理間が計画される
 松川浦大橋のけんせつが始まる 相馬共同火力発電所のけんせつが始まる
 常磐道(高速道路)いわき・相馬間が計画される

相馬港が国際港になる

中核工業団地の工事が始まる 国道一一三号線のバイパス工事が始まる

大樹町・豊頃町としまい都市になる

相馬港が日本で初めての発電所を中心とした工業団地になる

相馬市と流山市がしまい都市になる

市役所の建物が新しくなる

相馬港に初めての船が入る

常磐線中村駅を相馬駅という名前にかえる 相馬港の工事が始まる

カラーテレビの放送が始まる

相馬市にごみやき場ができる

桜丘小ができる

テレビがひろまる

相馬市ができる

中村町・大野村・飯豊村・山上村・玉野村・八幡村・日立木村・磯部村がひとつになって

電報電話局がひらかれる

各町村に公民館がつくられる

太平洋戦争がおわる 中村町営中村病院がひらかれる

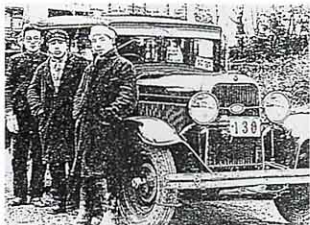
太平洋戦争が始まる

動力だっこくきが使われ始める

松ヶ江村が中村町といっしょになる

乗合自動車ができるようになる

中村町に水道ができる 新沼浦のかんたく工事がほぼおわる
 ラジオを聞く人がふえる



約60年前磯部—中村間を往復したバスとその運転手



相馬タワー